第11号　発行日　令和2年1月20日
青森県立弘前南高等学校サイエンス

弘前南 SSH 通信　CELESTE

◇放射線実習セミナー

1月7日(火)　対象：1年次次年度SSH生

場所：物理実験室

東北大学、日本原子力文化財団、日本原燃共催のもと、東北大学大学院工学研究科藤原先生から対話形式の講義で、放射線の基礎知識や人体への影響について学びました。γ線測定器を使った実習では、線源から離れると距離の逆2乗に比例して小さくなることを学びました。

【感想抜粋】

・放射線は身の周りにあり、人間も発していて役立つこともあり、悪い面だけでなく、良い面もたくさんあると分かった。
・日本の電力需要線のグラフを見せてもらい、電気や発電に関する話をたくさん聞くことができたので、今後電気をどのようにつかっていくのか考えさせられた。
・日本では放射線の事故があり死者も出た恐ろしいものだが、危険な物から逃げずに逆に使ってやろうという考えはとても素晴らしいと思った。
・普段の生活では聞けない貴重なお話をたくさん聞くことができた。とても高価な放射線量を計る機器を使わせてもらうことができた。

◇第14回自然環境学習会

1月11日(土)　対象：2年次 SSH 生生物班

場所：弘前市観光館

ひろさき環境パートナーシップ21主催の自然環境学習会に、生物班が2グループ参加しました。SSH課題研究の「プラナリアの自切について」「イネ赤諸の由来」について発表しました。生徒たちは、他の発表を聞き、研究の質の高さや研究材料が身近にたくさんあることに気づきました。また、一般の人たちに発表したことで、生徒たちが予想していなかった質問が出ました。研究内容をしっかりと把握することはもちろん、質問を事前に想定し、聞き手の状況に応じた発表力をつけることの大切さを学びました。

◇SSHタイ王国海外研修

1月8日(水)～12日(日)

対象：2年次 SSH 生希望者
場所：タイ王国バンコク近郊

2年次SSHクラス生希望者 11 名が、1月8日(水)から4泊5日でタイ王国を訪問しました。2日目にバンコク郊外にある Assumption College Thonburi 校を訪問し、課題研究や日本文化を現地高校生に英語で発表しました。日本語クラス生と交流したり、ローラーコースターを作成するディスカッションや食品保存に関する実習をSTEMクラス生と一緒に行いました。最初はお互いに緊張していましたが、最後には賑やかに雑談する様子が見られました。

3日目にはJICAタイ事務所と泰日工業大学を訪問しました。JICAでは、「タイは発展途上国ではなく、先進国にもう少しで追いつこうとしている国である」ことなどを分かりやすく説明していただき、国際協力の現状と課題について学びました。泰日工業大学では、前日の高校での反省を活かして、聞き手の方を見ながらスムーズに発表できました。

4日目は、ペッチャブリー県にあるザシリントーン国際環境公園に行き、マングローブ林を観察し、植樹体験をしてきました。前日のJICAでの講演から、マングローブの樹齢や水質、周辺環境を観察するなど、日本では学ぶことができない経験をたくさんしてきました。